

乗つてはならぬ

労働組合のいろはを知らぬあわれな脱退幹部

一、労働組合は労働階級の解放の理想... 二、労働組合は二三少数の幹部のみの意見により行動を爲す可きにあらずして一切の行動は支部組合聯合会等にあつても各々幹部会、總會、大會等の機関によりて各自の持つ異なる意見を十分討議され其後大多数の一致せる意見に基づき可きである。

三、役員は支部組合聯合会等々最高機関によりて決す可きにして二三の人間の意見により左右される可きでは断じてない。

此簡單なる三ヶ條の理解の出来ぬものは我總同盟の組合員たるものにして一人もない筈だ。

二、月曜會の組織が悪い。彼等の云ふ不平は脱退せんが爲の口實にして如何に考へても微塵も脱退の理由を認める事は出来ない。

三、幹本山君のやり方が共產黨的だ。彼等は組合や聯合会を離れぬものと思つて居るのか、西尾の聯合会や本山の聯合会に考へて居るのか馬鹿！

我々の組合は組合員全體の理解と同志的協力によるものだ

我金屬労働組合は七月廿九日晚一回の擴大本部員會にて左の決議をなした。

大阪金屬労働組合 擴大本部員會決議

- 一、脱退支部に對する態度。一、西支部聯合會其他大阪金屬労働組合を脱退したる支部員の多くは今回の問題につき充分なる其真相の報告を受けず一部幹部の一方的なる意見に基づき其態度を聲明するに至りたる者多かるを遺憾とす。金屬労働組合擴大本部員會は全大阪金屬産業労働者の唯一の城塞たる我大阪金屬労働組合を死守する事を決議し、而して更に今回脱退を聲明せる等之友誼支部の持つ誤解の近く水解され、再び歸り來りて我等と共に握手の手を換ふる可きを確信し之れが一日も早からん事のために努力する事を誓ふ。二、我等は今回の我大阪聯合會及金屬労働組合内部に起つたる悲しむ可き問題は一部幹部の誤れる行爲に起り、事件發生の事實に鑑み將來再びは、この問題の絕對に發生せしめざる大盤石の基礎確立のため左の事項につき幹部及組合員全體の最善の努力を期す。A 組合内支部聯合組織につき其組織は自然發生的なるも種々の弊害あるを思ひ、確心支部聯合及其他の支部聯合全體の地方的並に産業別整理につきても之等支部聯合の種々なる内的事情を無視する事なく一日も早く之れが整理に努める事。B 本部理事會は毎月一回以上必ず開催する事。C 本部會計は毎月一回理事會に於て各支部會計立會の下に必ず會計報告をなす事。D 本部費其他(争議、政治)一切の預金は會計組合長と別々に通過と印鑑を保管する事。E 個人貸出しは一切之れを禁じ特別支出については必ず理事會の承認を要す。但爭議其他の組合支部の公費として組合長並に會計の必要止むを得ず認めたる時は例外とするも次回理事會に於て事後承認を要す。F 右正につき事後承認は絕對に之れを許さず。三、本部常任(役員)理事。A 我大阪金屬労働組合各支部に對し脱退を勧誘したる前田雅男、八谷幸太郎兩君を大阪聯合會及大阪金屬労働組合本部、支部一切に寄せ付けざる事。B 右兩名の大阪金屬労働組合本部支部の一切の役員を解任する事。C 右兩君の大阪聯合會關係につきても亦同じ。

四、聯合會内組合員有志にて成れる月曜會の發生の精神につきては諒解するも其弊害あるを認め、之れが解散を命ずる事を聯合會に提議し、大阪聯合會組織内の青年部或は教育部を有機的に活用せしめる事。向本山幹本兩君より聯合會全體の平和の爲め必要あらば役員を遠慮したし三の中出であるを諒しし聯合會委員會にて組合長の裁量に一任する事。右決議す。

昭和四年七月廿九日 労働組合擴大大阪金屬本部員會

組合長、主事、常任、理事、支部長、會計、本部員、代議員

此れで一切の問題は解決して居るではないか、彼等がわづか一回の金屬の本部員會にて滿場一致解決す可きものをなぜ努力せずして脱退させ様とするのか。

組合運動の獨裁主義者の陰謀

諸君だまされるな、彼等も大馬鹿でない以上、此位の事はわかつて居るのだ。わかつて居ながら組合内にて努力し様としない處に彼等の陰謀があるのだ。只此れは彼等の問題は右の諸點にあるのではないのだ。只此れは彼等の獨裁的陰謀を實現せんが爲組合員をだます口實なのだ。眞の彼等の腹の中にかくされて居る陰謀は本山、幹本兩君を除くせんす所に本心があるのだ。萬一彼等にして之を否定するならば直ちに前非を謝し脱退支部へは我々復歸する様盡くす可きではないか。我等は本山君の過去の一切の言動を無條件にて承認するものでは絶對にない種々なる機會に於て一般組合員全體の調和を圖ふに十分なる考慮の缺けて居た點を認める。萬一兩名が共產黨であつたり、資本家から金をもらつたり、労働組合を賣つたり、ストライキに資本家から金を取つたりした様な階級的裏切り行爲がありすれば、無論我々も一言の異議を云ふす之に賛成するものである、但れ共多少位ひ急進的言動ありたるものに對し協力して牽制する事をせず直ちに之を除名し、労働運動界より罪り去る如き同志愛の精心を盡す所である。断じて賛成せざる所である。

統制を紊る者には團體運動をする價值なし

労働組合は組織の運動であり、統制の運動である云つても間違ひない。萬一組合員にして機關を無視し一切の幹部會、役員會、總會等の機關によらず個人的な行動を取るものあらんか、之は組合運動を破壊するものである。今回の西尾、金正等一派は最も尊重す可き組合の機關を無視したるもの云はねばならぬ。組合には理事會或は本部員會大會がある、聯合會には委員會も大會もあるではないか、又此以上に總同盟中央委員會もあれば、全國大會もある。何故此等の機關にかけて相談をしないのか、組合なり聯合會の内止り正式の機關にて十分討論なり意見をのぶ可きでないのか。わづか一回の聯合會執行委員會にて直ちに自分の愚ふ通りに定らんから云つて聯合會の役員(理職)が支部へまはつて行つて聯合會を脱退せよ云ふ如き如何に考へても正氣の沙汰は考へられない。況はんや總同盟の代理主事であり、一般組合員を教育して行かねばならぬ總同盟最高幹部に於てをや。

大阪聯合會を守ろう

我等は今日の全労働階級の受難期に直面して少しでも我々の力の増大をはかりより強固なる團結を以て資本の攻撃に對抗せねばならん事を痛感す。此時にあたり少しでも味方の陣營内の闘争力を分散するが如きは例へ其意志が何處にあらうか、かゝる真切的行爲に對しては断じて等閑にす可きではない。過去十有餘年多くの先輩同志の貴き犧牲の累積によつて築き上げた我々の聯合會を御互に守りませう。御互は兄弟です、同志です。何一つとして御互の間には別れねばならん理由はありません。感情もありません。離れてはなりません。守りませう。我々の聯合會を、そして眞に力ある氣持の善い聯合會に御互により善く努力をしませう。

責任者 大阪市此花區江成町二七山内 龜吉